



## テーマ

Theme

こども交通安全教室

## 学校・園名

School name

守山市立小津小学校(1年生)

## 講師等

Lecturer etc.

ヤマト運輸株式会社滋賀主管支店

## 実施日

Date

2017年5月12日

## 教科等

Subject etc.

行事

授業  
Class

ヤマト運輸(株)滋賀主管支店の安全指導員5名の方を講師に迎え、守山市立小津小学校で「こども交通安全教室」が実施されました。

今回は、低学年が対象で「横断歩道・道路の渡り方」を中心とした授業でした。授業の前半で、道路のどこを歩くのか、横断する時にどのようなことに気をつけたらよいか話を聞き、後半は実践です。信号機や、横断歩道などがセットされた仮設のコースを歩きました。



運転席から、白いゴムの下は見えない「死角」

子どもたちは、信号が青になっても直ぐに進まず左右を再確認し手を上げて横断歩道を渡ること、両サイドに壁や塀などがあり左右の様子が見えにくい所は、カーブミラーをよく見て確認することなど、教えてもらったことを一つ一つおさらいしながら実践しました。

また、車の運転席からでは見えない部分「死角」があることを実感し、車の近くで遊ばないことなどについて学びました。

指導員の方々のほとんどがドライバーです。日頃、気をつけていても気づきにくいこともあると実感されているだけに、子どもたちの安全を願う思いはひとしおです。

最後に、心から子どもたちの交通安全を願って、しっかり記憶に留めてほしいこととして、危ない場所、横断歩道の前では、「とまる」「まつ」「よくみる」の3点を守ることを指導員の方々と約束しました。

感想  
Impression

## 児童の様子 Impression from Children ~先生より~

■説明を聞いているときは、ほとんどの児童が知っていることと認知していましたが、いざ横断歩道を渡る際は、左右の確認が抜けることも多く、実際に練習して、安全な横断歩道の渡り方について再確認していました。

■「楽しかった」という声が多く、カーブミラーの使い方は特に新鮮だったようです。

## 学校より Impression from school

事前に指導内容について十分打ち合わせを行い、歩道の正しい渡り方、カーブミラーの使い方を実体験出来るようにしたかったため、実物に近いものを用意いただきました。

また、ヤマト運輸さんの、運転手側の立場や視界も知ってもらいたいという思いを生かした形で内容が設定できました。

## 講師より Impression from lecturer

先生や児童の方々に楽しみながら学んでいただけたように感じました。交通安全についての学習ということもあり、人に教えるという立場でありながらも自分自身にも、もう一度日頃の工作中的の行動を見直すいい機会になったと思っています。

## ～メッセージ～

危ない場所や信号のない横断歩道はたくさんあるので、十分注意し、事故にあわないよう安全に登下校してほしいです。クロナコヤマトの車はとても大きいので、小さなお友達が近くにも見えないときもあります。車の近くでは遊ばないでください。安全な場所で遊んでください。